

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高齢者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、2005（平成17）年度を初年として実施しているものである。

## 2 調査の対象及び客体

2005（平成17）年10月末時点で50～59歳であった全国の男女を対象とし、そのうち、前々回調査（第18回）又は前回調査（第19回）において協力を得られた者を調査客体（18,050人）とした。

第20回調査における対象者の年齢は、69～78歳である。

## 3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第20回調査 2024（令和6）年11月6日（水）

## 4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、社会活動等の状況 等

## 5 調査の方法及び系統

### （1）調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

### （2）調査の系統

厚生労働省 —— 被調査者

## 6 結果の集計及び集計客体

### （1）結果の集計

集計は、厚生労働省政策統括官で行った。

### （2）調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	調査年	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	2005（平成17）年	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	2006（平成18）年	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	2007（平成19）年	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	2008（平成20）年	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	2009（平成21）年	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第6回調査	2010（平成22）年	55～64歳	28,554	26,220	91.8%
第7回調査	2011（平成23）年	56～65歳	28,137	25,321	90.0%
第8回調査	2012（平成24）年	57～66歳	26,428	24,026	90.9%
第9回調査	2013（平成25）年	58～67歳	25,261	23,722	93.9%
第10回調査	2014（平成26）年	59～68歳	24,231	22,748	93.9%
第11回調査	2015（平成27）年	60～69歳	23,485	22,595	96.2%
第12回調査	2016（平成28）年	61～70歳	22,845	21,916	95.9%
第13回調査	2017（平成29）年	62～71歳	22,253	21,168	95.1%
第14回調査	2018（平成30）年	63～72歳	21,587	20,677	95.8%
第15回調査	2019（令和元）年	64～73歳	20,903	19,931	95.3%
第16回調査	2020（令和2）年	65～74歳	20,264	19,644	96.9%
第17回調査	2021（令和3）年	66～75歳	19,765	18,999	96.1%
第18回調査	2022（令和4）年	67～76歳	19,241	18,469	96.0%
第19回調査	2023（令和5）年	68～77歳	18,634	17,875	95.9%
第20回調査	2024（令和6）年	69～78歳	18,050	17,263	95.6%

※第5回まで、調査員調査により実施

### （3）集計客体数

本報告書では、回収客体数（17,263人）のうち、第1回調査から第20回調査まで集計可能である14,980人を集計客体とした。

## 7 調査票の様式